

新学期、次のステップに向けた準備を

副校長 田中 裕司

新しい年を迎え早一カ月が過ぎました。学校の裏山の木々も葉を全て落とし、冬枯れの凜とした風景が広がっています。寒さ厳しい中でしたが、1月8日の始業式では子供たちと元気に新年の挨拶を交わし、新学期のスタートをきることができました。新しく着任した上野副校長も、全校児童・生徒の前で挨拶しております。上野副校長は高等部を担当しますので、保護者会などでお話させていただくこともあるかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

1月から2月にかけて、学校では社会経験を増やし卒業後の生活に向けた取り組みが多く実施されています。小学部では、バスやモノレールなど公共交通機関の利用方法や乗車中のマナーを学習する乗車学習を行いました。また、中学部1年生は、七生福祉園作業棟での仕事の様子の見学を行うことで、自分の将来を考える機会をもつことができました。高等部1年生では、地域の福祉事業所や企業で数日間実際の仕事、生活体験を行うインターンシップが始まっています。生徒たちは、地域や事業所の中で様々な体験を行い、目標を達成することで、自信を深め新しいステップに進む意欲を身に付けていく機会となっています。高等部2年生は、1月22日から24日の2泊3日、名古屋方面に修学旅行に行ってきました。好天に恵まれる中、名古屋城や明治村を見学し、総合的な探究の時間で学習を積み重ねてきたSDGsへの取り組みを、トヨタ産業技術記念館の見学を通じて深めることができました。

3学期は、1年間の最後を締めくくる時期です。特に3月に卒業を控えている小学部6年生、中学部3年生、高等部3年生にとっては、新しい学校生活や進路先での生活に向けた準備を具体的に行う時期となります。学校では1月15日から17日まで、来年度高等部入学願書の受付を行い、2月には高等部入学相談、小・中学部入学説明会と新入学に関する取り組みを実施します。また、高等部3年生は、いよいよ進路先の決定、契約を行う時期となりました。保護者の皆様には、進学や進路決定に当たり、様々御確認いただくと共に、通学・通勤方法の確認など、学校と連携して着実に進めていただけるようお願いいたします。

残り30日ほどしかない一日一日を、目標をもって生活することが大切です。お子様一人一人が新しい次のステップへスムーズに進めるよう、学校と共に準備を進めてまいりましょう。

学校間交流について

主幹教諭 後藤 淳

学校間交流では、昨年度に続き、小学部は日野市立七生緑小学校・日野市立夢が丘小学校と同学年間の交流学习、中学部は日野市立日野第三中学校と同学年間の交流学习、高等部は東京都立日野高等学校と生徒会同士の交流学习を行っています。小学部では、昨年度まで、交流校2校と隔年ごとの交流をしてきましたが、継続した交流の必要性を重視し、今年度より、全ての学年で毎年2校と交流ができるように活動の整理を行いました。小学校1年生の時には本校コーディネーターが、交流校（七生緑小学校・夢が丘小学校）に出向き、本校（特別支援学校）の概要、児童の学習の様子、関わり方（特性や配慮事項）等を学んでもらい、小学校2年生には、本校の校内見学を行い、本校について実際に知ってもらう機会を設けています。小学校3年生～6年生では、年度の初めに、オンライン交流をし、3校が「昨年会ったね。今年も、もうすぐ交流だね。」と顔を合わせ、実際の交流に向けて、相手校の児童を思い出したり、交流への期待感を深めたりしています。小学部からの継続した活動の中で児童・生徒同士がつながり、一回で終わる交流ではなく、児童・生徒の経験を深め、相互理解につながっていく学校間交流を推進させることが、学校を卒業した後も様々な人々と共に助け合って生きていく力となり、積極的な社会参加につながっていく力になると考えます。